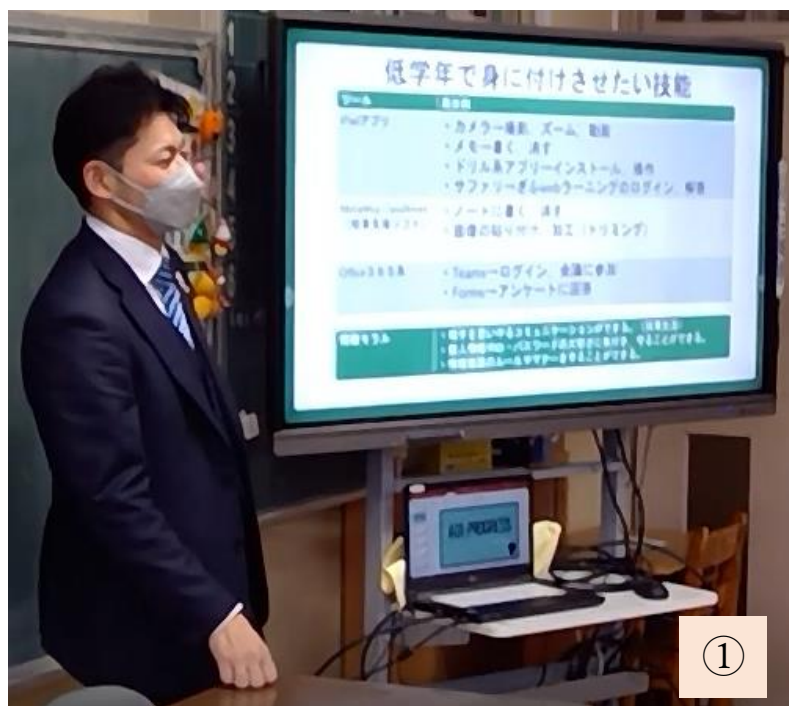


ICT 活用コーディネーターによる職員研修

～「情報活用能力」を育むために低学年・中学年・高学年で指導すること～

ICT 活用コーディネーターのプレゼンテーション（一部）



技術の進歩

技術の進歩（AI・IOTによる高度化・効率化）が進む。
→データリテラシー（理解・解釈・分析）の向上が必要

時代の変化に対応して求められる資質・能力 **情報活用能力**

●GIGAスクール構想
→児童生徒の個別最適な学びと、社会につながる共同
的な学びを実現していくことが重要

②

段階的に情報活用能力を育むために

●低学年
撮る・選ぶ・話す

●中学年
調べる・比べる・まとめる

●高学年
分類・組み合わせ・伝える

●中学校
調べる・まとめる・割り出す

③

低学年実践

ICT活用コーディネーターによる実践

2年 図画工作科
「たのしくつって（紙版画）」
B4（表現・制作）

- ・腕や足の位置や、関節の角度を確認しやすい。
- ・一つの場面をいろいろな角度での写真を撮ること
で、自分が思いつかない構図と出会うこともある。
- ・連射機能で髪の毛の浮いた感じや足の曲げた
様子を確認できる。
- ・イメージが付きやすいようにペンの機能を使って
ボールを描いている。

④

高学年実践

ICT活用コーディネーターによる実践

■LEGO Mindstorms education EV3■

5年総合的な学習の時間
「コンピュータと私たちの未来」
B3個別学習
B4表現・制作

内容
何度も命令を出し、試行錯誤していき中集めた情報を
使い、課題解決につなげる。整理や分析の力を育てる

児童の反応の様子
「楽しい」「もっとやりたい！」
「難しいけど何度もやって、できるとうれしい！」

⑤

校内研修で確認したこと

- ICT活用コーディネーターが中心となり、今後身に付けさせたい情報活用能力（低学年・中学年・高学年）を提示し、共通理解を図った。①②③
- ICT活用コーディネーターによる情報活用能力の育成を目指した実践をもとに、今後の指導・援助の在り方について共通理解を図った。④⑤